

「造園 CPD 会員 - 2」 25 年度（後期）新規募集スタート

25 年度「造園 CPD 会員 - 2」の後期新規募集がはじまりました。造園連を通して加入申請される方は、10 月 16 日までに造園連本部にお申込みください。

造園 CPD 制度に加入するには（登録申込について）

—まず会員種別の確認を—

造園 CPD 会員は、3 種類に分類されています。年会費は通常 4,000 円必要ですが、造園連の組合員事業所に所属される方は、造園連を通して加入申請すると会費が減免される CPD 会員-2（年会費 2,500 円/人）に登録できます。

また複数の団体へ加入されている方は、CPD 会員-1 のように所属団体により会費 0 円となる場合もありますので、下記で会員種別をご確認のうえ申請をして下さい。

〔CPD 会員 - 1〕（年会費：0 円）

- ・ 次の団体の個人会員は、WEB 上にて所定の方法で会員登録することで、会員（CPD 会員 - 1）となることができます。

全国一級造園施工管理技士の会、東京農業大緑友会、都市緑化機構、日本公園緑地協会、日本造園学会、千葉大学園芸学部二葉会

〔CPD 会員 - 2〕（年会費：2,500 円/人）

- ・ 次の団体の会員企業等に属する人は、所属団体を通して入会申請後、WEB 上にて所定の方法で会員登録することで、会員（CPD 会員 - 2）となることができます。

日本造園組合連合会、海洋博覧会記念公園管理財団、公園財団、自然環境共生技術協会、都市緑化機構、日本植木協会、日本公園施設業協会、日本公園緑地協会、日本水景協会、日本造園建設業協会、日本造園修景協会、日本緑化センター、ランドスケープコンサルタンツ協会、横浜市造園協会

〔CPD 会員 - 3〕（年会費：4,000 円/人）

- ・ 上記のいずれにも該当しない造園および関連分野の技術者等は、造園 CPD 事務局へ入会申請後、WEB 上にて所定の方法で会員登録することで、会員（CPD 会員 - 3）となることができます。

* いずれの会員も、造園 CPD 制度のホームページからの登録が必要となります。

登録手続き（造園連を窓口として申請する場合）

登録対象	造園連正組合員、並びに子弟・従業員（組合員事業所に所属している方）
会員種別	造園CPD会員－2
申込方法	申込書に必要事項を記入して、造園連本部に電子メール、FAXで送付。 あわせて会費もお振込み下さい。10月16日必着。
年会費	2,500円/人
年会費振替口座	郵便振替 00130-5-30761 口座名義（一社）日本造園組合連合会

申込・会費納入締切り 25年10月16日(水)

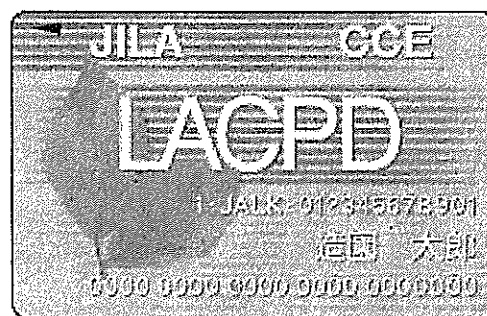
申込書は、造園連のホームページからダウンロード、または造園連本部までご連絡ください。
入金確認後、造園連より造園CPD事務局へ登録申請の手続きを行います。

造園連本部 e-mail [jf1c^{ニル}@sepia.ocn.ne.jp](mailto:jf1c@sepia.ocn.ne.jp) FAX 03-3293-7579

造園CPD会員証（磁気カード）などの引渡し、本登録

各事業所あてに、加入申請者の造園CPD会員証、ID番号と仮ログインパスワード、カード使用説明書等を送付します(12月下旬予定)。

記載されたID番号と、仮ログインパスワードを使い、必ず造園CPDのホームページ上から会員本登録を行ってください。この作業をもって登録が完了し、造園CPDの会員サービスシステムが使用可能となります。



*会員証がお手元に届くまでは、各自で実施状況を記録しておいてください。

登録後は、造園CPDホームページ上で個人記録の登録や確認などができるようになります。

造園CPDホームページ <http://www.lacpd.jp/>

造園CPD制度とは？

- ・ CPD=Continuing Professional Development（継続的専門能力開発=継続教育）を意味しており、造園関連の技術者が日々行っている、自分の技術技能の向上や知識の幅を広げる努力を支援し、その結果について第三者証明を行う制度です。
- ・ (株)日本造園学会を中心に、造園連をはじめとする造園関連の団体で構成する「造園CPD協議会」や「建設系CPD協議会」と連携して運営を行っています。
- ・ CPDの実施は、常に技術や知識の向上を目指している技術者を証明するとともに、技術者本人や雇用している企業の客観的評価にもつながるものです。公共機関が活用する工事实績情報サービス（コリンズ）でも登録項目になっており、造園CPD記録の登録が可能になるなど、技術者の評価基準として注目されつつあります。

造園CPD制度は単位制

- ・ 毎年度ごとに、どのくらいCPDを実施したかの時間などを単位として登録します。
- ・ 年間50単位の取得を推奨しています。

教育形態	プログラム名	単位数	単位登録方法	教育形態
①参加学習型	セットメニュー講習会	7.5(H24年度平均)	主催団体	I-110 造園連申請 認定プログラム
	登録造園基幹技能者講習	12		
	海外造園事情視察研修	20(H23年度)		
	造園シンポジウム	11.5(H24年度)		
	庭園アドバイザー認定研修会	12.5	自己登録	I-130 I-140
	全国都市緑化フェア見学	3		
	国際バラとガーデニングショー見学	3		
	建設系CPD協議会認定プログラムの受講	各団体の認定単位		
講習会, 講演会, シンポジウム等 CPD 認定プログラムへの参加(聴講)等				
②情報提供型	技能五輪への参加	10	自己登録	II-285
	国際バラとガーデニングショー, 各種庭園展, コンクールへの出展	10(責任者) 5(担当者)		II-255,256
	作品応募のための資料作成 (都市公園コンクール屋上壁面特殊緑化技術コンクール等)	(1応募作品につき) 5		II-290
	上記コンクールの受賞	認定された単位		V-505,506
	技能講習会の講師	5(1時間につき)		IV-15
	職業訓練校, 専門学校の非常勤講師	10(単発的なもの) 20(1機関1科目半年)		IV-430 IV-431
コンクール・設計競技への応募, 論文・作品等の発表, 図書執筆, 講師等				
③実務学習型	安全講習会	0.5(1時間につき)	主催団体または 自己登録	III-310
	支部主催コンクールでの受賞	20(1件につき)	自己登録	V-515
	地域活動での学校ビオトープの制作	5(1件につき)	自己登録	II-276
OJT, 業務経験で成果をあげた事項(賞の受賞等)				
④自己学習型	「造園連新聞」の購読	0.5(1時間につき)	自己登録	VI-620 年間最大 10単位
	「環境緑化新聞」, 「庭」, 「マイガーデン」 の購読	0.5(1時間につき)		
	NHK「趣味の園芸」視聴	0.5(1時間につき)		
	作動, 華道の学習	0.5(1時間につき)		
専門図書・技術図書等購読, 通信教育, 茶・華道の練習等				

造園CPD会員-2 登録申込書

一般社団法人 日本造園組合連合会

事業所名	
住所	〒
TEL	
FAX	
E-mail	
CPD会員登録者名	ふりがな
	ふりがな
	ふりがな
	ふりがな

【会員登録申請手順】

- ①申込書に必要事項を記入する
- ②申込書を造園連本部へ電子メール、FAX等で送付する
- ③CPD会員1名につき2,500円の年会費を造園連が指定する振替口座に振込む

E-mail…^{エル}jflc@sepia.ocn.ne.jp FAX…03-3293-7579

年会費振替口座…郵便振替00130-5-30761 名義…(社)日本造園組合連合会

※振替用紙の通信欄に「CPD会費」と記入のこと

25年度CPD会員(後期)申込締切… 10月16日(水)

*入金確認後、造園連事務局より造園CPD事務局へ登録手続きの申請を行います。